

インフラ老朽化「元年」―「事後保全」から「予防保全」への管理手法の転換

自治体インフラ維持管理計画

～インフラマネジメントー管理・点検支援システム、
 実施計画と推進施策、インフラ再設計システム～

2013年5月24日(金) 10:10～16:10 剛堂会館・会議室（東京・千代田区）

- （維持管理）
（実施計画）

5つの施策ー①長寿命化の推進 ②維持管理の重点化 ③情報管理
 ④地域協働の推進と道路資産の有効活用 ⑤維持管理システムの確立
- インフラ再設計ーコンセプトと事例、インフラマネジメント、官民連携
- 自治体における「社会基盤施設総合管理・橋梁点検支援システム」の活用と実証実験

【講師陣】

小林 潔司 氏

京都大学大学院 工学研究科教授
 京都大学経営管理大学院教授・同経営研究センター長

神尾 文彦 氏

㈱野村総合研究所 社会システムコンサルティング部長・主席研究員

天野 隆興 氏

富士通㈱ 次世代公共営業本部 行政ビジネス推進統括部
 自治体ビジネス推進部兼経営戦略室新規ビジネス開発室

【参加要領】

- 会 場：

剛堂会館ビル(明治薬科大学)会議室
 東京都千代田区紀尾井町3-27
 TEL03-3234-7362（案内図は申込後送付）
- 支払方法：

銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留
 みずほ銀行麹町支店 普通1159880
 三井住友銀行麹町支店 普通7411658
 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
 郵便振替:00110-8-81660 口座名:㈱地域科学研究会
- 参加費

(1名)	当日参加	メディア参加
行政・議員	23,000円	26,000円
一般	33,000円	36,000円

(メディア参加は送料込)
 ※参加費の払い戻しはいたしませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合には、代理の方の出席をお願い致します。

メディア参加には開催後に講演収録CD(未編集)と配布資料をお届けします(送料込)。また、当日参加者で都合が悪く欠席される場合にもメディア参加とさせていただきます。

- 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい（FAX・郵送・メール等）

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
 TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp

☐ 研修会「自治体インフラ維持管理計画」への参加

☐ 当日参加 2013年 月 日
☐ メディア参加

勤務先(請求書宛名等)

連絡担当者

所在地〒

TEL

参加者氏名

所属部課役職名

FAX

Email

〈通信欄〉○を付けて下さい

※ご記入いただいた個人情報、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

支払方法(銀行振込・郵便振替・当日払・現金書留)
 必要書類(納品書・請求書・見積書)

時	講 義 内 容
10:10 ～ 12:00	インフラ維持管理手法と自治体施策化への取り組み 京都大学 小林 潔司 氏 1. アメリカの経験から何を学ぶか？ 2. アセットマネジメントとは？ 3. アセットマネジメント体制 4. 維持管理実施計画における 5 つの施策 ①長寿命化の推進 ②維持管理の重点化 ③情報管理 ④地域協働の推進と道路資産の有効活用 ⑤維持管理システムの確立 5. Plan-Do-Check-Actionは動くのか？ 6. 今後の課題 <質疑応答> 略歴：工学博士、専門分野：土木計画学、インフラ経済学。京都大学大学院修士課程土木工学専攻修了、京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻教授、同大学経営管理大学院・経営研究センター長。応用地域学会会長(平成19～21年)、循環型社会の円滑な物流確保に資する整備方策調査委員長(平成12～14年／国土交通省・環境省・経済産業省・農水省)、道路事業評価手法検討委員会副委員長（平成15年～／国土交通省）、国土審議会計画部会国土基盤専門委員(平成17～18年／国土交通省)、公共事業の構想段階における計画策定プロセス研究会委員長(平成19～20年／国土交通省)、グローバルビジネス学会理事長、サービス学会理事(平成23年～)、OECD-ECMT Round Table メンバー(平成17年～)。
13:00 ～ 14:50	社会インフラの再設計に向けた政策と戦略の構築 榊野村総合研究所 神尾 文彦 氏 1. 社会インフラ老朽化の実態とインパクト 2. 再設計のコンセプトと取り組み事例 (道路・上下水道等自治体資産を中心に、都道府県・中核的市町村) 3. 再設計に必要なインフラマネジメントの方向性 (情報プラットフォームの整備、アセットマネジメント、戦略づくりと評価体系など) 4. インフラ再設計と官民連携のあり方 (組織形態、契約形態、コンソーシアムのあり方等) <質疑応答> 略歴：東京都出身。1991年慶応義塾大学経済学部卒業後野村総合研究所に入社。公共経営戦略コンサルティング部長、未来創発センター公共経営研究室長を経て現職。公共政策、公共経営、政策評価、政策金融などを専門とし、横浜商工会議所行政要望委員会委員。主な著書・論文に「新たな段階を迎える社会資本マネジメント」「日本の成長に寄与するための水ビジネスの国際化戦略」「社会インフラ一次なる転換」など。
15:00 ～ 16:10	「社会基盤施設総合管理システム」と「橋梁点検支援システム」を活用した 社会資本の効率的な維持管理に向けた取り組み 富士通㈱ 天野 隆興 氏 1. 社会資本整備における背景と社会課題 2. 先進的な取り組み事例 ー 兵庫県社会基盤施設総合管理システムのご紹介 3. 尼崎市様の実証実験について ー 点検業務の効率化に向けて 4. 当社の考える将来 <質疑応答>